

委員会議事概要

1 委員会名	令和3年度 第9回沖縄海区漁業調整委員会
2 開催日時	令和3年12月10日(金) 14:15~14:30
3 開催場所	沖縄県庁6階 第2特別会議室
4 出席委員 (定数15名中13名)	(会場参加) 赤嶺博之委員、池田博委員、伊良波宏紀委員、上原亀一委員、 大城和夫委員、大嶺嘉昭委員、八前隆一委員、山内得信委員、 新立弘子委員 藤田喜久委員、山川彩子委員、天方徹委員、 城間恒浩委員 (Web参加) 当真聡委員、大谷健太郎委員
5 議事録署名人	池田委員、山内委員
6 議事内容	
(1) 第1号議案	浮魚礁の敷設承認申請について (P1~P33)
【要旨】	新規の承認申請が6基(国頭漁協5基、糸満漁協1基)あり。原案のとおり承認された。
【特記事項】	【池田委員】国頭漁協の中層浮魚礁について、礁体の水深が20メートルから130メートルとかなり幅がある。大体中層は表面から40メートルが基本。申請書には130メートルというのがあるが、潮流で、250メートルまで下がると思うが、問題ないか。 【事務局】詳細は確認していないが、潮の流れで礁体の水深が変わることはありえる。何か問題がないかを漁協にも伝えることでよいか。 【池田委員】設置する場合は、水面から40メートルぐらいが基本。130メートルでは、魚はつかないと思う。潮流の影響で、40メートルでも180メートルまで下がる場合もある。潮流で、かなり深いところに行ってしまう。 【大嶺委員】初めて中層の浮魚礁を敷設したときに、間違っって水深が深いところに敷設してしまった。自分も現場にいたが、漁協の敷設にミスがあった。 【池田委員】中層は敷設が非常に難しい。大体プラスマイナス50メートルの範囲内で敷設する必要があるが、表面からのマイナス40、50メートルで敷設するのは非常に難しい。敷設の費用がかかっている、もったいないという感覚だ。